

平成24年度事業報告書

自 平成24年4月 1日
至 平成25年3月31日

総括的概要

平成24年度のわが国経済は、円高・デフレ、電力供給問題など、国内の構造的な課題に加え外的要因も重なり、景気回復のめども立たずにいたが、昨年12月の政権交代後、国の積極的な経済対策等により緩やかではあるが活気を取り戻し、景気の先行きに明るさを見せてきました。

北海道経済においては、北海道新幹線の札幌延伸が国土交通大臣から認可されたことにより、建設工事等での経済活性化の決め手となる明るい出来事があったが、経済全般としては、全国同様に景気回復の兆しが見えてきたものの、足取りは他地域より鈍く、停滞感を払拭するまでには至らなかった。

こうした状況下にあって、当商工会議所は商工会議所に課せられた責務を銘記し、関係機関・団体との連携を密にし、当面する景気対策はもとより、地域経済の再生・振興、社会資本の整備等への対応についての要望等、各般にわたる施策の展開を強く求めるとともに、商工会議所の重点事業である小規模企業振興対策は小規模企業者の経営基盤の強化と健全な発展に資するため、各種事業の推進に努めた。

事 項 別 状 況

1. 定 款 及 び 規 約 等

(1) 定 款

本年度は定款の変更は行わなかった。

(2) 規 約

本年度は規約の変更は行わなかった。

2. 組 織

(1) 会 員

A 会 員 数

区 分	前年度末 会 員 数	新 規 加 入 者 数	脱 会 者 数 (廃業による)	年 度 末 会 員 数
個 人	2 8 5	5	1 0	2 8 0
法 人	2 6 5	9	1 3	2 6 1
合 計	5 5 0	1 4	2 3	5 4 1

会 費 負 担 口 数 別 会 員 数

口 数	会 員 数	口 数	会 員 数	口 数	会 員 数
1 口	2 1 8	8 口	6	2 3 口	1
2 口	5 6	1 0 口	1 2	2 5 口	1
3 口	1 5 2	1 2 口	2	3 0 口	7
4 口	1 5	1 3 口	1	3 5 口	1
5 口	4 6	1 5 口	3	5 0 口	1
6 口	6	1 8 口	2		
7 口	8	2 0 口	3		

(議員の選挙は会費1口に付1票、但し、1会員最高50票を限度とする。)

B 部 会

部 会 名	所 属 業 種	所 属 部 会 員 数
商 業 部 会	卸売業、各種商品小売業、織物・衣服身の回り小売、飲食料品小売、自動車等小売、家具・じゅう器家庭器具小売、その他小売	158
建 設 業 部 会	総合建設業、職別工事業、設備工事業	82
工 業 部 会	製造業全般、運輸・通信業	94
環 境 衛 生 部 会	飲食店、サービス業（洗濯・理美容業・浴場・旅館業）	98
庶 業 部 会	農業、林業、金融保険業、不動産業 サービス業（*環境衛生部会のサービス業以外）	109

C 委 員 会

委 員 会 名	委 員 数	主 な 審 議 事 項
商 工 業 振 興 委 員 会	15	地域商工業の振興・育成、その他中小企業の振興対策についての事項
観 光 振 興 委 員 会	14	観光産業の育成、観光客誘致対策等に関する事項
総 務 委 員 会	15	本所の基本的運営並びに他委員会に属せざる事項
小 企 業 等 経 営 改 善 資 金 審 査 会	5	小企業等経営改善資金貸付に係る審査
市 町 村 合 併 対 策 委 員 会	18	市町村合併並びに商工会議所等合併問題の検討

(2) 特 定 商 工 業 者

区 分	特 定 商 工 業 者	内 訳	
		会 員 数	非 会 員 数
法 人	249	200	49 (45)
計	249	200	49 (45)

() は非会員中、負担金を納入している数

(3) 役員

A 平成25年3月31日現在の各役員の定数及び実数

区分	定数	実数	備考
会 頭	1	1	
副 会 頭	2	2	
専 務 理 事	1	1	
常 議 員	13	13	
監 事	2	2	

B 平成25年3月31日現在の役員の氏名、企業の名称及び企業上の地位、企業の業種

役 名	氏 名	企 業 の 名 称 及 び 企 業 上 の 地 位	企 業 の 種 類
会 頭	若 林 輝 彦	(有) か つ や 社 長	薬 局
副 会 頭	山 本 和 則	(株) ダ イ イ チ 会 長	建 設 売
〃	久 山 邦 徳	(株) 久 山 商 店 社 長	文 具 販 売
専 務 理 事	佐 藤 隆	美 幌 商 工 会 議 所	
常 議 員	後 藤 哲 也	(株) 三 共 後 藤 建 設 社 長	建 設 売
〃	永 澤 則 次	(株) な が さ わ 社 長	食 品 販 売
〃	横 山 喜 義	(株) 四 ツ 輪 工 業 社 長	管 工 事
〃	古 舘 繁 夫	(有) 古 舘 板 金 工 業 所 所 長	板 金 売
〃	長 岡 敬 幸	(有) マ リ モ 社 長	洋 品 販 売
〃	宮 田 博 行	(株) 宮 田 建 設 社 長	建 設 売
〃	大 西 均	(有) 大 西 燃 料 店 社 長	燃 料 販 売
〃	菅 原 雅 之	オホーツクネクスト美幌菅原事務所 所 長	税 理 士
〃	中 川 寿 一	三 星 運 輸 (株) 社 長	運 輸
〃	熊 谷 政 博	網走信用金庫美幌支店 支 店 長	金 融
〃	田 村 博 昭	美 幌 貨 物 自 動 車(株) 社 長	運 輸
〃	福 田 孝 俊	(有) ふ く だ 社 長	飲 食 業
〃	塩 島 英 生	クレードル食品(株) 副 社 長	食 品 加 工
監 事	石 澤 信 勝	(株) 電 建 会 長	電 気 工 事
〃	松 田 寿 夫	松 田 部 品 (株) 社 長	自 動 車 部 品

(4) 議員

A 平成25年3月31日現在の各議員の定数及び実数

区 分	定 数	実 数	備 考
1 号 議 員	25	22	
2 号 議 員	15	15	
3 号 議 員	7	7	
合 計	47	44	

B 平成25年3月31日現在の議員の氏名、企業の名称及び企業上の地位企業の業種

氏名	企業の名称及び企業上の地位	企業の業種	備考
1号議員			
有岡康則	(株)有岡木材店 社長	建材卸	
猪本美行	(有)猪本製作所 社長	家具・建具製造	
上西恵	(株)ウエニシ 社長	青果物移出	
大井正行	(株)大井機販 社長	農機具販売	
大西均	(有)大西燃料店 社長	燃料販売	
大野江二	大野種苗生産販売(株) 社長	種 苗	
高橋清文	(株)オホーツク設備 社長	管 工 事	
山中敏文	(有)さんけん 社長	建築工事	
池 功 司	(有)シルバーサポートノア 社長	福祉介護	
鈴木将晋	(有)スズキ電器 社長	家電販売	
森 英 樹	(株)寿しの竹ちゃん 社長	飲 食 業	
種田善夫	(有)種田工務店 社長	建 築	
中村仁郎	(有)中村商店 社長	米穀燃料	
広岡昭雄	(有)ひろおか 社長	衣料品販売	
福田孝俊	(有)ふくだ 社長	飲 食 業	
古舘繁夫	(有)古舘板金工業所 所長	板 金	
小形 明	(株)ベストメント 社長	損害保険	
乙武俊広	(有)北新電設 社長	電気工事	
味噌一郎	(同)味噌精肉店 社長	精肉卸小売	
谷 政 則	(株)ミートテック 社長	豚肉卸小売	
山本秀幸	(有)山本電器商会 社長	家電販売	
横山喜義	(株)四ッ輪工業 社長	管 工 事	

2号議員				
永澤則次	(株) な が さ わ	社 長	食 品 販 売	商 業 部 会
長岡敬幸	(有) マ リ モ	社 長	洋 品 販 売	〃
前田祐輔	(有) 前 田 商 店	社 長	金 物 販 売	〃
若林輝彦	(有) か つ や	社 長	薬 局	〃
久山邦徳	(株) 久 山 商 店	社 長	文 具 販 売	〃
山本和則	(株) ダ イ イ チ	会 長	建 設	建 設 部 会
宮田博行	(株) 宮 田 建 設	社 長	建 設	〃
田村博昭	美幌貨物自動車(株)	社 長	運 輸	〃
塩島英生	クレードル食品(株)	副社長	食 品 製 造	工 業 部 会
蓮井博文	(株) 蓮 井 鉄 工 所	社 長	鉄 骨 工 事	〃
横山直樹	(株) 横 山 土 建	社 長	コンクリート製造	〃
三坂重弘	青 葉 荘	代 表	旅 館	環 境 衛 生 部 会
林 真 男	(有) こ う り ん	社 長	葬 祭 業	〃
宮野孝司	北見信用金庫美幌支店	支店長	金 融	庶 業 部 会
菅原雅之	オホーツクネクスト美幌菅原事務所	所 長	税 理 士	〃
3号議員				
熊谷政博	網走信用金庫美幌支店	支店長	金 融	
後藤哲也	(株) 三 共 後 藤 建 設	社 長	建 設	
中川寿一	三 星 運 輸 (株)	社 長	運 輸	
大沼剛	聖 太 建 設 (株)	社 長	建 設	
田村栄治	(株) 田 村 精 肉 店	社 長	精 肉 卸 小 売	
惠本司	日本甜菜製糖(株)美幌製糖所	所 長	製 糖	
橋 一 幸	(株) 北 洋 銀 行 美 幌 支 店	支店長	金 融	

(5) 部 会 長 等 (平成25年3月31日現在)

- 商業部会
 - 部 会 長 長 岡 敬 幸 (有) マ リ モ 社 長
 - 副 部 会 長 久 山 邦 徳 (株) 久 山 商 店 社 長
 - 副 部 会 長 前 田 祐 輔 (有) 前 田 商 店 社 長

- 建設業部会
 - 部 会 長 後 藤 哲 也 (株) 三 共 後 藤 建 設 社 長
 - 副 部 会 長 古 舘 繁 夫 (有) 古 舘 板 金 工 業 所 所 長
 - 副 部 会 長 猪 本 美 行 (有) 猪 本 製 作 所 社 長

- 工業部会
 - 部 会 長 塩 島 英 生 ク レ ー ド ル 食 品 (株) 副 社 長
 - 副 部 会 長 蓮 井 博 文 (株) 蓮 井 鉄 工 所 社 長
 - 副 部 会 長 横 山 直 樹 (株) 横 山 土 建 社 長

- 環境衛生部会
 - 部 会 長 福 田 孝 俊 (有) ふ く だ 社 長
 - 副 部 会 長 三 坂 重 弘 青 葉 荘 代 表
 - 副 部 会 長 大 野 秀 樹 (株) 後 楽 園 社 長

- 庶業部会
 - 部 会 長 熊 谷 政 博 網 走 信 用 金 庫 美 幌 支 店 支 店 長
 - 副 部 会 長 菅 原 雅 之 オ ホ ー ツ ク ネ ク ス ト 美 幌 菅 原 事 務 所 所 長
 - 副 部 会 長 池 功 司 (有) シ ル バ ー サ ポ ー ト ノ ア 社 長

(6) 委員会等 (平成25年3月31日現在)

商工業振興委員会 (14名)			
委員長	長岡敬幸	(有)	マ リ モ 社 長
副委員長	宮田博行	(株)	宮 田 建 設 社 長
委員	塩島英生	(株)	ク レ ー ド ル 食 品 副 社 長
〃	田村博昭	(株)	美 幌 貨 物 自 動 車 社 長
〃	猪本美行	(有)	猪 本 製 作 所 社 長
〃	大沼剛	(株)	聖 太 建 設 社 長
〃	乙武俊広	(有)	北 新 電 設 社 長
〃	鈴木将晋	(有)	ス ズ キ 電 器 社 長
〃	田村栄治	(株)	田 村 精 肉 店 社 長
〃	種田善夫	(有)	種 田 工 務 店 社 長
〃	高橋清文	(株)	オ ホ ー ツ ク 設 備 社 長
〃	前田祐輔	(有)	前 田 商 店 社 長
〃	山中敏文	(有)	さ ん け ん 社 長
〃	山本秀幸	(有)	山 本 電 器 商 会 社 長

観光振興委員会 (12名)			
委員長	横山喜義	(株)	四 ツ 輪 工 業 社 長
副委員長	福田孝俊	(有)	ふ く だ 社 長
委員	永澤則次	(株)	な が さ わ 社 長
〃	中川寿一	(株)	三 星 運 輸 社 長
〃	池功司	(有)	シ ル バ ー サ ポ ー ト ノ ア 社 長
〃	上西恵	(株)	ウ エ ニ シ 社 長
〃	大井正行	(株)	大 井 機 販 社 長
〃	大野江二	(株)	大 野 種 苗 生 産 販 売 社 長
〃	谷政則	(株)	ミ ー ト テ ッ ク 社 長
〃	林真男	(有)	こ う り ん 社 長
〃	三坂重弘	(有)	青 葉 荘 代 表 長
〃	森英樹	(株)	寿 し の 竹 ち ゃ ん 社 長

総務委員会（15名）				
委員長	後藤哲也	(株)三共後藤建設	社長	
副委員長	菅原雅之	オホーツクネクスト美幌菅原事務所	所長	
委員	橋一幸	(株)北洋銀行美幌支店	支店長	
委員	大西均	(有)大西燃料店	社長	
委員	古舘繁夫	(有)古舘板金工業所	所長	
委員	熊谷政博	網走信用金庫美幌支店	支店長	
委員	有岡康則	(株)有岡木材店	社長	
委員	惠本司	日本甜菜製糖(株)美幌製糖所	所長	
委員	小形明	(株)ベストミント	社長	
委員	中村仁郎	(有)中村商店	社長	
委員	蓮井博文	(株)蓮井鉄工所	社長	
委員	広岡昭雄	(有)ひろおか	社長	
委員	味噌一郎	(同)味噌精肉店	社長	
委員	宮野孝司	北見信用金庫美幌支店	支店長	
委員	横山直樹	(株)横山土建	社長	

(7) 顧問

土谷耕治	美幌町長
古舘繁夫	美幌町議会議長
池田重則	美幌駐屯地司令
外崎雅洋	美幌警察署長

(8) 参与

横山正造	前副会頭
中村昭士	前監事
有岡貞雄	前監事

3. 選挙及び選任

(1) 議員

本年度1号議員の選挙は行わなかった。

(2) 役員

平成24年12月21日開催 第91回臨時議員総会にて、クレードル食品(株)副社長塩島英生氏を常議員に選任する。

4. 事 務 局

(1) 事 務 局 の 構 成

事 務 局	部 課 名	所 属 事 務	職 員 数
	総 務 課	庶務、会計、経理、会館管理、行事、調査、広報、 美幌峠売店管理	5
	指 導 課	小規模事業指導業務、青色申告会及び法人会育成 労働保険事務組合	4

(2) 事 務 局 職 員

A 職員の職務及び氏名

事務局次長（経営指導員）	横 山 清 美
経営指導員（指導課長）	深 田 裕 二
〃	河 野 聡
補 助 員	伊 藤 健 一

B 職 員 の 数

区分	専 任 職 員	経 営 指 導 員	補 助 員	記 帳 専 任 職 員	備 人	計
男	1	3	1		2	7
女	1				1	2
計	2	3	1		3	9

5. 庶 務

(1) 文 書

() はファクシミリ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
受 信	2 2 6 (2 1 5)	2 9 4 (1 7 4)	2 6 1 (1 8 9)	2 8 3 (2 6 6)	2 3 3 (1 7 6)	2 3 2 (1 7 6)
発 信	2 7 3 (6 1 9)	1, 1 2 1 (4 7 4)	4 8 0 (9 3 2)	5 1 7 (7 9 3)	1 7 5 (7 3 0)	2 2 0 (5 5 5)

1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	合計
2 4 8 (2 8 4)	2 6 7 (2 1 1)	2 4 2 (1 6 0)	2 1 9 (1 7 1)	1 9 4 (1 5 5)	2 6 0 (2 1 7)	2, 9 5 9 (2,394)
1, 3 6 5 (8 5 9)	4 2 7 (1,164)	5 3 2 (6 8 5)	5 3 9 (9 8 8)	1 8 8 (3 3 7)	1 1 9 (3 9 5)	5, 9 5 6 (8,531)

(2) 表 彰 ・ 受 賞

A 表 彰

◎美幌商工会議所商工従業員表彰式（表彰年月日 平成24年11月20日）

・特別表彰者（35年以上）	美幌運送(株)	石田政司		
・特別表彰者（30年以上）	㈱小林トラクター整備工場	舘野哲也	他	3名
・勤続25年以上	三星運輸(株)	稲葉二三	他	4名
・勤続20年以上	(有)かつや	野田恭子	他	3名
・勤続15年以上	(有)エヌ・ケイ農機	大槻光宏	他	15名
・勤続10年以上	(株)美幌峠物産館	谷本妙子	他	5名
・勤続5年以上	(株)オホーツク設備	佐々木伸也	他	9名

B 受 賞

◎北海道商工会議所連合会表彰

受賞年月日 平成24年6月8日

表彰規程第3条該当

勤続20年 常 議 員 後 藤 哲 也

勤続10年 常 議 員 長 岡 敬 幸

表彰規程第5条該当

勤続35年 事務局次長 横 山 清 美

◎日本商工会議所表彰

受賞年月日 平成24年9月20日

表彰規程第2条該当

勤続21年 副 会 頭 山 本 和 則

(3) 慶 弔 そ の 他

関係機関及びその他の式典等に祝辞及び祝意を表し、会員等の不幸には弔慰を表した。
また、関係団体の転退任に際しては歓送迎会の主催等を行った。

6月 5日	第1特科団副団長歓迎会
7月 1日	帯広地方協力本部56周年
7月14日	美幌駐屯地創立60+1周年
7月21日	第5旅団創立記念行事
8月19日	びほーる完成記念式典
9月23日	美幌ロータリークラブ50周年
9月27日	北洋銀行美幌支店新店舗落成
12月16日	隊友会美幌支部創立50周年
2月27日	北海道新聞社美幌支局長歓送迎会
3月 1日	美幌療育病院10周年
3月20日	美幌駐屯地101特科大隊長送別会

6. 会 議

(1) 議 員 総 会

A 通常議員総会

◎第86回通常議員総会

- ・日 時 平成24年6月29日
- ・会 場 美幌経済センター
- ・出席議員 議員定数47名中47名（内委任状行使者数16名）、監 事 2名
専務理事他事務局員 4名

議 題

決 議 事 項

- 第1号議案 平成23年度美幌商工会議所事業報告について
- 第2号議案 平成23年度美幌商工会議所一般会計収支決算報告について
- 第3号議案 平成23年度中小企業相談所特別会計収支決算報告について
- 第4号議案 平成23年度美幌峠レストハウス運営特別会計収支決算報告について
- 第5号議案 平成23年度役職員退職給与金特別会計収支決算報告について
- 第6号議案 平成23年度財政調整積立金特別会計収支決算報告について
- 第7号議案 貸借対照表並びに財産目録について
- 第8号議案 東北海道商工会議所連絡協議会特別会計収支決算報告について
- 第9号議案 びほろ納涼花火大会特別会計収支決算報告について

◎第87回通常議員総会

- ・日 時 平成25年3月28日
- ・会 場 美幌経済センター
- ・出席議員 議員定数47名中44名（内委任状行使者数15名）、監 事 2名
専務理事他事務局員 4名

議 題

決 議 事 項

- 第1号議案 平成25年度事業計画案について
- 第2号議案 平成25年度会員会費1口の金額及び納付について
- 第3号議案 平成25年度一般会計収支予算案について
- 第4号議案 平成25年度中小企業相談所特別会計収支予算案について
- 第5号議案 平成25年度美幌峠レストハウス運営特別会計収支予算案について
- 第6号議案 平成25年度役職員退職給与金特別会計収支予算案について
- 第7号議案 平成25年度財政調整積立金特別会計収支予算案について
- 第8号議案 平成25年度一時借入金限度額について
- 第9号議案 買物宅配・便利サービス事業特別会計収支予算案について
- 第10号議案 びほろ夏まつり特別会計収支予算案について
- 第11号議案 創立60周年記念特別会計収支予算案について

B 第91回臨時議員総会

- ・日 時 平成24年12月21日
- ・会 場 美幌経済センター
- ・出席議員 議員定数47名中42名（内委任状行使者数15名）、監 事 2名
専務理事他事務局員 4名

議 題

決 議 事 項

- 第1号議案 常議員の補欠選任について
- 第2号議案 買物宅配・便利サービス事業特別会計収支予算案について

報告事項

1. 特別相談窓口の設置について
2. 新年交礼パーティー実施について

C 議員懇談会

- ・日 時 平成24年6月29日
- ・場 所 肉の割烹田村
- ・懇談内容 商工会議所運営について

(2) 常 議 員 会

◎第316回常議員会

- ・日 時 平成24年6月29日
- ・会 場 美幌経済センター
- ・出席役員 13名

議 題

協 議 事 項

- 第1号議案 平成23年度美幌商工会議所事業報告について
- 第2号議案 平成23年度一般会計収支決算報告について
- 第3号議案 平成23年度中小企業相談所特別会計収支決算報告について
- 第4号議案 平成23年度美幌峠レストハウス運営特別会計収支決算報告について
- 第5号議案 平成23年度役職員退職給与金特別会計収支決算報告について
- 第6号議案 平成23年度財政調整積立金特別会計収支決算報告について
- 第7号議案 貸借対照表並びに財産目録について
- 第8号議案 東北北海道商工会議所連絡協議会特別会計収支決算報告について
- 第9号議案 びほろ納涼花火大会特別会計収支決算報告について

◎第317回常議員会

- ・日 時 平成24年11月22日
- ・会 場 美幌経済センター
- ・出席役員 12名

議 題

決 議 事 項

- 第1号議案 平成25年度美幌町に対する要望事項について
- 第2号議案 美幌町との懇談会開催について

協 議 事 項

- 第1号議案 常議員の補欠選任について
- 第2号議案 買物宅配・便利サービス事業特別会計収支予算案について

報 告 事 項

1. 特別相談窓口の設置について
2. 新年交礼パーティー実施について
3. 美幌豚醤油「まるまんま」販売について

◎第318回常議員会

- ・日 時 平成25年3月28日
- ・会 場 美幌経済センター
- ・出席役員 13名

議 題

協 議 事 項

- 第1号議案 平成25年度事業計画案について

第2号議案	平成25年度会員会費1口の金額及び納付について
第3号議案	平成25年度一般会計収支予算案について
第4号議案	平成25年度中小企業相談所特別会計収支予算案について
第5号議案	平成25年度美幌峠レストハウス運営特別会計収支予算案について
第6号議案	平成25年度役職員退職給与金特別会計収支予算案について
第7号議案	平成25年度財政調整積立金特別会計収支予算案について
第8号議案	平成25年度一時借入金限度額について
第9号議案	買物宅配・便利サービス事業特別会計収支予算案について
第10号議案	びほろ夏まつり特別会計収支予算案について
第11号議案	創立60周年記念特別会計収支予算案について
決議事項	
第1号議案	東北海道商工会議所連絡協議会提出案件について

(3) 監査会

- ・日時 平成24年6月20日
- ・場所 美幌経済センター
- ・出席者 定数 2名 出席者数 2名

(4) 部会

部会名	年月日	議題
商業部会	24. 4. 20	1. 研修会開催支援
	24. 11. 15	1. 経営セミナー開催支援
建設業部会	24. 4. 20	1. 金融研修会開催支援
	24. 11. 15	1. 経営セミナー開催支援
工業部会	24. 4. 20	1. 金融研修会開催支援
	24. 11. 15	1. 経営セミナー開催支援
環境衛生部会	24. 4. 20	1. 金融研修会開催支援
	24. 11. 15	1. 経営セミナー開催支援
庶業部会	24. 4. 20	1. 金融研修会開催支援
	24. 11. 15	1. 経営セミナー開催支援

(5) 委員会

委員会名	年月日	出席者	議題
商工業振興委員会	24.10.17	13	1. 美幌町との懇談事項項目検討について
	25. 3.13	9	1. 平成25年度美幌町に対する要望事項 2. 平成25年度事業計画について
観光振興委員会	24.10.19	9	1. 美幌町との懇談事項項目検討について
	25. 3.12	9	1. 平成25年度美幌町に対する要望事項 2. 平成25年度事業計画について
総務委員会	24. 7.30	9	1. びほろ納涼花火大会開催について
	24.10.18	10	1. 研修会等の開催について 2. 美幌町との懇談事項項目検討について

	25. 3. 13	1 1	1. 平成25年度事業計画について 2. 仮称「びほろ夏まつり」実施について 3. 美幌商工会議所創立60周年について 4. 東北北海道連絡協議会要望事項について
小企業等経営 改善資金審査会	24. 4. 4	4	審査件数 1件
	24. 8. 27	4	〃 2件
	24.10. 19	4	〃 2件
	25. 1. 28	4	〃 2件 計 7件

(6) その他の会議

会議名	年月日	出席者	議 題
正副会頭会議	24. 5. 21	6	1. 常議員会並びに通常議員総会の日程調整 2. 美幌町との懇談日程について 3. 全道商工会議所大会参加について
	24. 6. 29	7	1. 常議員会並びに通常議員総会に附議する件 2. 青年部との懇談会開催について
	24. 8. 3	8	1. 北海道・東北連絡会議参加について 2. 会員親睦ゴルフ大会参加状況について 3. びほろ納涼花火大会開催の件 4. 美幌町との懇談会開催について
	24. 9. 27	5	1. 各行事日程調整について 2. 10月行事予定について 3. 高齢者等買物宅配事業について 4. 美幌豚醤油「まるまんま」の今後について
	24. 11. 6	5	1. 従業員表彰式挙行について 2. 常議員会の開催について 3. 美幌町との懇談会開催について
	25. 1. 28	6	1. 通常議員総会並びに常議員会日程について 2. 各種事業の進捗状況について 3. 行事予定について
	25. 3. 25	7	1. 常議員会並びに通常議員総会に附議する件

◎各分野リーダー別懇談会

日 時 平成24年10月29日
出 席 美幌町長・副町長
美幌町議会議長・副議長
美幌町農業協同組合長・専務・参事
美幌商工会議所会頭・副会頭・専務理事

◎美幌町との懇談会

日 時 平成24年11月28日
場 所 美幌町民会館
出 席 者 美幌町長・副町長・教育長・各部長
美幌商工会議所会頭・副会頭・専務理事・常議員・監事

日 時 平成25年2月20日
場 所 美幌町応接室
出 席 者 美幌町長・副町長
美幌商工会議所会頭・副会頭・専務理事

◎職員例会 (毎月1回開催)

7. 事 業

(1) 各種事業活動

①観光事業

- イ 美幌峠に所有する展望休憩室(指定管理者)・売店を観光客に対し利便を与えた。
- ロ 美幌峠秋風コンサート支援 平成24年9月23日
- ハ 美幌峠初日の出フェスティバル支援 平成25年1月 1日

②中心市街地活性化事業の実施

- イ ポイントカードシステム事業「協同組合スマッピーカードびほろ」事務支援
- ロ 空き店舗活用事業 空き店舗対策補助 1店舗 (リースキン美幌)
- ハ びほろ町内消費拡大セール事業

1. 趣 旨

美幌町連合商店会・協同組合スマッピーカードびほろ・美幌商工会議所の3団体で、消費拡大による美幌町内の経済活性化を目的に「びほろ町内消費拡大セール」を実施。

2. 実施団体：びほろ町内全域消費拡大推進実行委員会

3. 後 援：美 幌 町

4. 事業内容

- ・「プレミアム付プリペイドカードチャージ事業」
 - 日 時 6月9日(土) 午前10時～午後4時
 - 会 場 しゃきっとプラザ「集団検診ホール」
 - 内 容 10,000円をカードにプリペイド入金で、3,000円のプレミアムを加算。
- ・ポイント2倍セール
 - 実施期間 平成24年7月1日～7月31日
- ・プリペイドスピードくじ
 - 期 間 平成24年6月9日(土)～6月30日(土)
 - 内 容 スマッピーカードのプリペイドにて買物された方限定
500円毎にくじを引いてもらい当選者には1,000円の商品券を贈呈。

ニ 協同組合スマッピーカードびほろ年末年始大売出しの支援

- 売出期間 平成24年11月15日～平成25年1月2日
- 抽 選 会 平成25年1月2日 美幌経済センターにて実施
- 参 加 店 スマッピーカードびほろ加盟店及び美幌町連合商店会協力店
- 内 容 福袋、商品券、商店賞等の贈呈。

③合同会社びほろ笑顔プロジェクトに対する支援について

- ・美幌豚醤油「まるまんま」販売
 - 1回目 6月15日発売開始 1,300本
 - 2回目 11月22日発売開始 1,300本
- ・美幌豚のギフトセット販売 12月10日発売開始 限定70セット
- ・レシピコンテスト・グランプリ大会の実施
 - 日 時 平成24年9月2日
 - 場 所 しゃきっとプラザ3階調理室
- ・さっぽろオータムフェスタ2012出店
 - 日 時 平成24年9月14日～19日(6日間)
 - 場 所 札幌大通り公園
 - 出品物 美幌豚バーガー・しゅうまい
- ・北の大収穫祭出店
 - 日 時 平成24年9月29日～30日(2日間)
 - 場 所 東京恵比寿ガーデンプレス
 - 出品物 美幌豚バーガー・まるまんまメンチカツ

・視察の受け入れ

日 時 平成24年11月2日
場 所 役員室
受入先 網走農業改良普及センター美幌支所 12名

日 時 平成24年11月16日
場 所 役員室
受入先 九州宮崎県高城町商工会 6名

日 時 平成24年9月25日
場 所 役員室
受入先 オホーツク管内商工会議所経営指導員連絡会議

④タクシーチケット販売事業の実施 (6月1日より)

⑤美幌・津別地域季節労働者通年雇用促進支援協議会事業支援

季節労働者の通年雇用促進の為、求人開拓、求人情報の事業支援を行った。

- ・総会 5月24日
- ・運営委員会 5月11日、2月20日
- ・セミナー 9月20日、11月2日、1月30日 106人 参加
- ・就職合同面談 平成24年12月7日 6名参加
- ・資格取得講習 平成25年2・3月 受講者 31人

⑥高齢者等買い物支援協議会事業支援

高齢者等の買い物弱者に対する支援策等に対する事業支援を行った。

- ・協議会の開催 4月20日、8月7日、8月29日、9月24日、10月16日

⑦買い物宅配・便利サービス事業の実地

高齢者に加え、障害のある方、病気や子供が小さくて買い物に行けなくて不便を抱えている方の買い物を支援するために11月15日より事業スタート

- ・登録会員数 127名
- ・利用者数 宅配サービス 26人(延べ170人)
便利サービス 37人(延べ44人)

⑧美幌町健康増進計画推進委員会事業支援

町民一人ひとりがそれぞれの望む「健康」を得ることができるよう健康づくりを支援し、それを継続できるための環境を整えることを目指し、「美幌町健康増進計画」を平成25年度から29年度の5年間の計画を策定。

- ・委員会の開催 6月27日、9月28日、12月18日、2月28日

⑨美幌町障害者自立支援協議会事業支援

美幌町に居住する障がい者が地域で安心して生活できるよう支援することも目的に活動。

- ・協議会の開催 6月26日、10月11日、12月5日、
- ・障害福祉懇話会の開催 12月14日、2月21日、
- ・研修会の開催 11月5日
テーマ「障がいのある人が元気になると美幌のマチが元気になる」
講 師 NPO 法人十勝障がい者支援センター理事長 門屋 充 郎 氏

⑩美幌町地域防災計画検討委員会事業支援

平成23年3月の東日本大震災を踏まえた国と道の計画の修正に基づき、美幌町の住民の避難対策を中心とし地域の実情や現状に即した計画の見直しについての支援を行った。

- ・委員会の開催 9月25日、11月29日

⑪会員対象特定健診の実施

会員企業の経営者や従業員、並びに家族皆様方の健康管理の充実を目的として、国保病院、美幌町ともに特定健診を実施した。

実施日 平成24年11月10日（土） 11日（日）

場 所 美幌町立国保病院

受診者 13名

⑫美幌地方自衛隊協力会事業支援

美幌駐屯地隊員の激励並びに後援等に努めるとともに、自衛隊の実態を認識し、自衛隊の健全な育成・発展に寄与することを目的に役員として事業支援を行った。

- ・会議等の開催 幹事会（4月16日）・役員会（6月11日）・総会（6月11日）
- ・美幌駐屯地創立60+1周年記念行事
 - 7月13日 市中パレード、ミニコンサート開催
 - 7月14日 創立60+1周年記念式典
- ・機関紙「北辰新聞」の月1回の発行

⑬自衛隊美幌駐屯部隊充実整備期成会事業支援

美幌駐屯部隊の存置及び充実整備を図り、併せて隊区内市町村の振興に寄与することを目的とした、町内の自衛隊協力諸団体及び経済界の代表により構成された団体「陸上自衛隊美幌駐屯部隊充実整備期成会」の一員として事業支援を行った。

- ・会議等の開催 総会（4月19日）
役員会（4月5日、5月21日、7月6日、8月17日）
- ・陳情活動
 - 日時 平成24年6月26～29日
 - 陳情先 陸上幕僚幹部・防衛省・防衛関係議員・地元選出国會議員
 - 日時 平成24年10月11～12日
 - 陳情先 美幌駐屯地・帯広駐屯地・帯広地方協力本部・第一特科団・北部方面總監部
- ・防衛講話 平成24年10月5日 テーマ「日本の安全保障と中国」
講師 井上廣司氏（元美幌駐屯地司令）
- ・各種自衛隊行事に対し参加（諸会議等の出席 参照）

⑭美幌町収入証紙元売り事業

美幌町ごみ有料化に伴い、美幌町一般廃棄物処理手数料の収入証紙元売りの指定を受け、指定ゴミ袋の取り扱いを行なった。

取扱店 62店

取扱高	100	11,464袋	2,292,800円	(68,784円)
	200	22,615袋	9,046,000円	(271,380円)
	300	15,165袋	9,099,000円	(272,970円)
	400	18,007袋	14,405,600円	(432,168円)
	250円証紙	550枚	137,500円	(4,125円)
	500円証紙	520枚	260,000円	(7,800円)
		合計	35,240,900円	(1,057,227円)

⑮会員サービス事業の実施

- ・商工会議所会員並びに従業員の福利厚生事業の一助として各種共済制度、所得補償制度 P L 保険制度、医療共済制度や共通優待サービス事業を実施した。
- ・ J A N メーカーコード登録申請業務及び容器包装リサイクル化委託申請業務を実施した。

⑯美幌高等学校「インターンシップ」事業の支援

勤労や職業観の理解の深化を図り、コミュニケーション能力を養い、地域産業についての理解や地域社会に貢献できる人材育成を目的とする「就業体験」事業の支援を行った。

日 程 平成24年8月 第2学年
受入企業 30事業所

⑰役員・議員に対する F A X 通信事業

号数	発行日	掲 載 事 項
139	24. 4. 17	美幌町における景気動向調査報告書
140	24. 6. 4	タクシーチケット取扱開始
141	24. 7. 3	美幌豚醤油「まるまんま」テレビ放映ご紹介
142	24. 7. 9	新規学卒者の雇用についてのお願い
143	24. 7. 11	駐屯地記念市中パレードご案内
144	24. 8. 8	美幌町における景気動向調査報告書
145	24. 11. 2	美幌町における景気動向調査報告書
146	24. 11. 13	新規高卒者の採用枠拡大についてのお願い
147	24. 12. 25	年末年始業務のお知らせ
148	25. 1. 22	宅配便利サービス事業テレビ放映のお知らせ
149	25. 1. 28	美幌町における景気動向調査報告書
150	25. 2. 8	障がい者雇用の一層の推進に関する要請書
151	25. 3. 19	新卒者の採用拡大についてのお願い

⑱びほろ納涼花火大会の開催

開催日 平成24年8月11日（金）
場 所 美幌小学校グラウンド
内 容 ふるさと盆踊り終了後、納涼花火大会の開催。

⑲親睦事業の開催

- ・会員職場親睦ゴルフ大会
日 時 平成24年8月4日 12時28分スタート
会 場 北見ハーブヒルゴルフクラブ
参 加 者 13チーム 52名

⑳美幌町未来を拓くみちの会事業支援

まちづくりの観点から、今後の美幌町の道路のありかたを調査研究する事業を実施した。

- ・「オホーツクの道を考える会」現場見学
日 時 平成24年5月31日
場 所 北見道路・北海道横断自動車道網走線
- ・「地域強靱化フォーラム」
日 時 平成24年9月7日
場 所 ビッツアークホテル

- ・一般国道39号「北見道路」(北見西IC～北見東IC) 開通
平成25年3月31日供用開始

②美幌ふるさと祭り事業支援

美幌町手作り出店実行委員会を編成し、暴力団の関係する露店を排除し、町民参加による手作り出店を推進し、美幌ふるさと祭りを実施した。

実施日 平成24年9月4・5・6日
場 所 神社通り

②青年部活動

1. 会 議
 - (1) 通 常 総 会
 - 1) 日 時 24年4月26日 午後7時
場 所 美幌経済センター 役員室
決議事項 ① 23年度 事業報告並びに収支決算報告について
 - 2) 日 時 25年3月29日 午後7時
場 所 居酒屋 加賀屋
決議事項 ① 25年度 事業計画(案)並びに収支予算(案)について
 - (2) 臨 時 総 会
 - 1) 日 時 24年10月26日 午後7時
場 所 居酒屋 加賀屋
決議事項 ① 25年度 役員予定者選出について
 - (3) 役 員 会
 - 1) 日 時 24年4月26日 午後6時30分
場 所 美幌経済センター 役員室
議 題 ① 23年度 事業報告並びに収支決算報告について
② 24年度「YEGが創る夢ある北海道会議」メンバー登録
報告事項 ① 北海道商工会議所青年部連合会総会等のお知らせ
 - 2) 日 時 24年8月2日 午後7時
場 所 美幌経済センター 役員室
議 題 ① 美幌納涼花火大会支援について
② 北海道ブロック大会帯広大会について(9月1日・2日)
③ 北海道商工会議所青年部連合会OB会設立総会開催について
④ 美幌国際交流ビールパーティー参加依頼について
⑤ さっぽろオータムフェスト出店支援について
 - 3) 日 時 24年10月3日 午後7時
場 所 美幌グランドホテル
議 題 ① 25年度役員予定者選出について
②臨時総会開催について
③第9回 素敵な出会い交流パーティー実施について
④第2回道東地区協議会「ブロック交流会」について
⑤第30回 全国会長研修会「美し国三重・津会議」について
 - 4) 日 時 25年3月12日 午後6時30分
場 所 美幌グランドホテル
議 題 ① 平成25年度事業計画・事業予算について

(4) 幹 事 会

- 1) 日 時 25年1月18日 午後7時
場 所 美幌グランドホテル
協議事項 ① びほろ冬まつり寒中焼肉パーティーの実施について
② 会員親睦ボウリング大会開催について
- 2) 日 時 25年2月8日 午後6時
場 所 美幌グランドホテル
協議事項 ① 会員親睦ボウリング大会参加チーム・運営について
- 3) 日 時 25年2月25日 午後6時30分
場 所 美幌グランドホテル
協議事項 ① 25年度事業計画・事業予算について
② 25年度北海道 YEG 理事並びに幹事の推薦について

(5) 委 員 会

- 1) 素敵な出会い交流パーティー実行委員会
日 時 24年8月21日 午後7時
場 所 居酒屋 加賀屋
協議事項 ① 事業運営・計画について
- 日 時 24年10月3日 午後7時
場 所 美幌グランドホテル
協議事項 ① 当日のスケジュール・スタッフについて

2. 事 業

(1) 定 例 会

- 1) 日 時 24年4月26日 午後7時
場 所 美幌経済センター役員室
内 容 4月定例会「今後の事業についての意見交換会」
出 席 者 8名
- 2) 日 時 24年6月5日 午後6時30分
場 所 美幌経済センター会議室
内 容 6月定例会「映画鑑賞会」C・チャップリンの「サーカス」
出 席 者 5名
- 3) 日 時 24年7月9日 午後7時
場 所 肉の割烹 田村
内 容 7月定例会「会議所三役との懇談会」
出 席 者 12名
- 4) 日 時 24年7月15日 午前10時
場 所 和牛まつり会場
内 容 7月定例会「会員・家族親睦会」
出 席 者 9名
- 5) 日 時 24年12月19日 午後7時
場 所 肉の割烹 田村
内 容 12月定例会「意見交換会」
出 席 者 14名

(2) 美幌町、美幌商工会議所等への事業支援

- 1) 美幌豚バーガー販売支援
日 時 24年7月15日(日) 8:00~15:30
場 所 美幌和牛観光祭り会場
販売個数 300個(完売)

- 2) 美幌観光和牛まつりイベント支援
 - 日 時 24年7月15日(日) 9:30~12:00
 - 場 所 美幌和牛観光祭り会場
 - 3) 美幌納涼花火大会運営支援
 - 日 時 24年8月11日(土) 17:00~22:00
 - 場 所 美幌小学校グラウンド
 - 4) さっぽろオータムフェスト美幌豚バーガー販売支援
 - 日 時 24年9月14日(金)~19日(水) 6日間
 - 場 所 さっぽろ大通西8丁目 会場
 - 販売時間 午前10時から18時まで
 - 販売個数 1000個
 - 5) 美幌町民新年交礼パーティー
 - 日 時 25年1月4日 17:00~19:00
 - 場 所 美幌グラウンドホテル
- (3) 北海道YEG・他団体との交流
- 1) 美幌国際交流パーティー「若人との交流会」
 - 日 時 24年8月24日(金) 18:00~22:30
 - 場 所 ビールパーティー/美幌グラウンドホテル
若人との交流会/スナック アンサ
 - 2) 北海道YEGブロック大会「帯広大会」
 - 日 時 24年9月1日(土) 2日(日)
 - 場 所 帯広市民文化ホール及び周辺施設
 - 内 容 分科会、懇親会、記念式典、記念講演
 - 3) 道東地区協議会「ブロック交流会」
 - 日 時 24年11月3日(土)
 - 場 所 浦河町ファミリースポーツセンターほか
 - 内 容 スポーツ交流会、懇親会、2次会
- (4) 美幌YEG事業
- 1) エコキャップ回収支援事業
 - <回収箱設置>
 - <推進PR> ①美幌観光和牛まつり ②美幌町民新年交礼パーティー
 - 2) 歓迎スポーツ合宿看板設置
 - (期間: 24年7月24日~8月31日)
 - 3) 第9回 素適な出会い交流パーティー
 - 日 時 24年11月24日(土) 午後7時
 - 場 所 美幌グラウンドホテル
 - 参加人数 男性29名 女性22名 計51名 (カップル14組成立)
 - 共 催 美幌みらい農業センター
 - 4) 2013びほろ冬まつり寒中焼肉パーティーの実施
 - 日 時 25年2月3日(日)
 - 場 所 冬まつり会場(家畜市場跡地)
 - 内 容 美幌産牛焼肉パック300、ホルモン・ジギスカン各50販売
 - 5) 第26回 商工会議所会員事業所親睦ボウリング大会
 - 日 時 25年2月20日 午後6時30分~
 - 場 所 美幌グラウンドホテル・ボウリング場
 - 参加数 16チーム(48名)

(2) 意見活動

○第92回東北北海道商工会議所連絡協議会提出（5月11日）

○平成24年度自由民主党移動政調会提出

○平成24年度松木代議士秋季地域政策懇談会提出(8月6日)

税制改正について

道内経済は、個人消費の低迷、民間設備投資や公共事業の削減等、依然として厳しい状況が続いている。

こうした厳しい経営環境下、中小企業者はその打開に向け全力で取り組んでいる。

国においては、中小企業者に対しあらゆる支援強化の対策を講じ、誠に心強い限りではあるが、一日も早くこの危機を脱し、経済に活力を取り戻すにはより一層国の支援策が必要であります。

については、消費の拡大を図り、景気浮揚及び中小企業の経済安定化のため要望致します。

記

1. 法人税法の改正
 - ・交際費等の損金算入規制の撤廃
2. 各種所得控除の堅持
3. 定率減税の実施

外形標準課税資本金1億円以下の法人に対する導入反対について

景気が低迷しているさなか、更に雇用や経済に重大な悪影響を与える、法人事業税への外形標準課税が平成15年度税制改正により、平成16年度から資本金1億円超の大企業に適用されました。

外形標準課税は、所得以外の賃金をはじめとする付加価値部分や資本金に対して課税されることから、大半の法人で税負担が増加致しております。

しかし、多くの問題を含む外形標準課税が今後1億円以下の中小企業に対し課税対象が拡大されることのないよう要望いたします。

社会保険料率の軽減並びに適用拡大の反対について

平成15年4月から、健康保険や厚生年金保険の保険料は負担の公正化を図るため、月額報酬と賞与について同率の保険料を賦課する「総報酬制」へと切り替わりました。

そのことにより、平成15年3月以前の賞与に対する保険料率は健康保険、厚生年金保険事業主、被保険者合計で1000分の18が1000分の217.8と10倍以上の負担増となりました。

さらに、国は2017年には年収の18.3%（労使折半）とまで上げるべく2004年10月から厚生年金保険料を段階的に引き上げてきており、この保険料の引き上げは企業の費用負担増となり経営を圧迫するものであります。

また、社会保障と税の一体改革で政府はパート労働者等への社会保険適用拡大を従業員数を501人以上の企業を対象に労働時間では現行の「週30時間以上」から「週20時間以上」に、年収を「130万円以上」から「94万円以上」にとそれぞれ拡大し2016年4

月からの適用、更に3年以内に追加の拡大策を検討することも法律に明記するとしている。

これが実施されれば地域経済を支える中小企業にとって過大な負担となり、道内の景気低迷に更に拍車をかけるものであります。

については、景気浮揚及び消費の拡大を図るためにも保険料の軽減を実現するとともに、パート労働者等非正規労働者の適用拡大がこれ以上実施されないよう要望致します。

女満別空港の就航体制の整備について

女満別空港は、本州、道央地域を結ぶオホーツク地域における重要な空の交通手段として産業経済の発展、観光振興はもとより文化・スポーツ交流など地域社会の発展に重要な役割を果たしています。

現在、同空港は道内の新千歳、丘珠と、道外では東京、名古屋と結ぶ直行便、大阪（関西）の季節運航（6月～10月）、平成20年11月にILS36（ILS双方向化）が供用開始され離着陸の安全性向上が図られるなど道東観光の拠点、またビジネス客の交通手段として利用されています。

しかし、現在、オホーツク管内への観光客の減少、運航体制の縮小等により、乗降客は年々下降を辿っています。

今後、道内外からのビジネス客、観光客の利用増加を図り、更に東南アジアなど海外から国際チャーター便を誘致するなど利用客の増加を図るため同空港の就航体制の充実、整備が望まれます。

そこで、当地方の経済活性化を推進のため強く要望致します。

記

1. 国際チャーター便に対応したCIQ施設の整備およびCIQ職員の常駐配置
2. 東京便の女満別始発時間帯の繰上げ
3. 季節運航路線の通年運航化
4. 主要都市とを結ぶ新規路線の開設推進
5. 機材の大型化及び就航便数の増大

北海道横断自動車道の整備促進について

北海道は広大な土地に都市が点在しているため、都市間距離は全国の約2倍となっており、その移動に要する時間は当然長く、地方センター病院及び救命救急センターのカバー面積は全国と比べて約4倍となっている。このような広域分散の地域構造にあるなか、移動手段の大部分を自動車に依存しているが、点在する中心都市などを連絡する高速ネットワークの整備は遅れている状況にある。特に広域分散型の構造が顕著な道東地域では、農水産物が全国シェアの上位に位置しているところであり、更なる効率的な輸送と安心・安全な農水産物の輸送が必要不可欠であります。

また、高齢化社会を迎えている本地域では、最近の医師不足による地域医療への住民不安が顕在化するなかで、救急搬送並びに日常の受療動向とも第三次高度医療施設が存在する中核都市へ依存する傾向が強まっており、住民は遠距離の移動で大きな負担を強いられています。

更には、当地域は国内有数の地震発生地域であり、今後大規模な災害が発生した場合、国道の寸断による救急車両の不通、生活関連物資輸送が止まるなどの被害も危惧される。

については、地域基幹産業の競争力を高め、地域医療の格差是正を図り、災害から地域の生命線を確実に確保するために、高規格幹線道路、地域高規格道路並びに国道の整備が促進されるよう要望致します。

特に北海道横断自動車道は、点在する道東の中核都市を効果的に結びつけ、道東と道央を直結させる大動脈として地域の産業・経済の発展、円滑な物流、観光振興などあらゆる面で多大な効果をもたらすことが期待されており、交通ネットワークは全線が開通することにより本来の目的が達成されることから、早期完成を強く要望致します。

記

予定路線区間「北見市端野－網走」間の効率的・効果的整備の促進。
特に女満別空港まで直結する「美幌バイパス」と「北見道路」を結ぶ「北見市端野町－美幌町」間の早期整備

J R石北本線「旭川－網走」間的高速化及び車両の快適性向上について

オホーツク地域は道央及び道北地域から遠隔な位置にあるため札幌始め主要都市を結ぶ交通手段の高速性を高めることが地域振興の上で欠くことのできない要件であります。

J R石北本線はオホーツク地域を縦貫する重要な交通手段として地域住民、観光客に利用されているが、現在「旭川－網走」間を走行する性能の高い列車でも時速約95km/hと「旭川・札幌」間の約130km/hに比べると速度に格段の差があります。

所要時間も特急列車で「札幌－旭川」間136.8kmを1時間32分で運行しているのに対して、「旭川－網走」間237.7kmを諸条件が異なるとしても3時間41分も要しており、また函館、帯広方面を走行する列車と比べ乗り心地の面で劣っています。

このような状況から、オホーツク地域における地域住民の交通の利便性を高めるために強く要望致します。

記

1. J R石北本線「旭川－網走」間的高速化
2. 快適で乗り心地の良い車両へのグレードアップ

地域高規格道路の整備促進について

高規格幹線道路との連携による全国的な「交通ネットワークの形成」の一環として、道内においても地域高規格道路の整備が進められています。

広大な東北海道地域においては、都市間を有機的に結ぶ道路網の整備が重要な課題であるが、北海道横断自動車道と連携した地域集積圏の拡大や、広域物流拠点である重要港湾、広域交通拠点としての空港などと連結する高速交通ネットワークを形成する上で、地域高規格道路の重要性が高まっていることから強く要望致します。

記

1. 道東縦貫道路の計画路線への早期昇格 (美幌町 － 標茶町)

道路整備に必要な予算の確保について

道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律等の一部を改正する法律が平成21年4月30日に公布・施行され、平成21年度から道路特定財源はすべて一般財源化されたが、広大な面積を有する北海道においては、分散する拠点都市を有機的に結合させ、立ち遅れている産業構造の高度化を推進させるためにも交通ネットワークの整備は急務を要する課題であるといえます。

つきましては、道路整備が速やかにかつ確実に進められるよう予算の確保を強く要望します。また、地域格差の是正、生活者重視、緊急対策等の視点から地方の活性化、高速道路や高次医療施設へのアクセスの強化、冬期道路の維持管理及び改善、道路防災対策、交通事故対策などのための必要な道路整備の施策が確実に実行されるよう重ねて強く要望致します。

記

1. 分散する拠点都市を有機的に結合し、立ち遅れている産業構造の高度化を推進させるための交通ネットワークの整備
2. 広い北海道の「地域の命をつなぐ緊急医療」のための高速道路網をはじめとした道路整備
3. 北海道の厳しい冬の期間でも、子供たちやお年寄りたちが安全・安心して生活できるための道路整備

WTO農業交渉と経済連携協定（EPA）の日本提案の適切な対応の実施について

網走地域が魅力ある農村環境を維持し、国民の安全な食料を安定供給するとともに、管内農業・農村の持続的な発展を図っていくためには、WTO・EPAに当たり、多様な農業の共存を目指す我が国の主張が適切に反映されるよう、国民合意の下、確固たる姿勢で粘り強く交渉に望むことを要望致します。

記

1. WTO農業交渉に当たっては、農業・農村の多面的機能の発揮や食料安全保障の確保を図るなど、日本提案の実現を目指すというこれまでの基本姿勢を堅持すること。
2. EPA交渉に当たっては、多様な農業の共存と食料安全保障の確保が図られるよう、関税撤廃の例外品目を設定するなど適切に対応すること。

北海道における自衛隊体制の堅持について

北海道は我が国の防衛戦略上、極めて重要な拠点として位置付けられ、自衛隊創隊当初から第一線部隊が配置され、国土防衛や地域の安全と安定に大きな役割を果たすとともに、国際的な安全保障環境の構築に寄与してきました。

しかしながら、平成17年度以降、道内の陸上自衛隊は大幅な削減が行われ、総合力からみた北の守りの低下や地域の安全と安定、更には地域の経済・社会に大きな影響を及ぼしています。

東北海道においては、第5旅団並びに第2師団遠軽駐屯地が所在し、北方防衛の最前線に立ってきたが、近年はスリム化の要請に対応しつつ、機動性と即応性を兼ね備えた精強化部

隊として高い練度を維持する努力を続けられ、国際貢献活動の主力ともなっている。

加えて、地域とともに歩む自衛隊として地域住民との相互信頼の絆も厚く、経済、社会、文化などさまざまな面でかかわりを持ち、地域の発展に大きく貢献しており、東日本大震災以降は、地震、津波など大規模災害への備えが叫ばれる中、地域からの期待は大きいものがあります。

については、北日本地域の安定的な戦略環境と動的防衛力の構築や地域の安全と安定、更には自衛隊創隊以来半世紀以上の長きにわたり、国の防衛政策の推進に積極的に協力してきた北海道の役割や道内に所在する防衛財産の価値を十分に認識され、北海道における自衛隊の体制を堅持されるよう強く要望致します。

国土交通省北海道局並びに北海道開発局の存続について

北海道は明治以来、わが国の食料やエネルギー資源などの供給地として位置付けられ、政府は国家的見地から北海道開発に積極的な投資を行ってきました。

現在は、北海道開発法に基づく北海道総合開発計画を企画・立案し、推進する体制として、「国土交通省北海道局、北海道開発局、開発建設部」という組織構成により執行されているが、積雪寒冷や広域分散型社会を反映した北海道特例の継続、公共事業予算の一括計上などの施策とあわせ、総合的な開発の枠組みが有効に機能しています。これらの枠組みによって、例えば、食料の生産基盤である農地や漁港、関連施設などを計画的に整備し、それらを運ぶための道路や港など物流基盤を有機的に構築することで、国益にかなう産業基盤の一体的整備が図られるとともに、地域住民の安全・安心な暮らしと産業を守る治水・防災や生活基盤づくりに大きな役割を果たしています。

こうした中、国土交通省の組織見直しに関して、北海道局の廃止・統合議論が浮上したことや、出先機関改革として一昨年12月に政府が示した「広域的实施体制の枠組み（方向性）」で、国土交通省地方整備局など3つの機関を当面の委譲候補として、国会への法案提出を目指していると伝えられたことで、地域には危機感が広がっています。

北海道局は北海道開発を一元的に担当する局として、財政当局をはじめ各省・各局と対等な立場で調整する機能を有し、全国一律の観点で政策を所管する国土交通省他局とは性格を異にしており、廃止あるいは統合されることになれば、一括計上権や北海道特例が継続されたとしても、北海道開発の枠組みの弱体化・形骸化が危惧されるところであります。

また、北海道開発局についても近年、地方整備局など出先機関の権限委譲と同一視した見方が広がるなど、国土交通省と農林水産省が所管する国の公共事業の実施を一元的・総合的に担う機関としての本質が軽んじられていることは、甚だ遺憾と言わざるを得ません。

地球的規模で深刻化する資源・食料の獲得競争やエネルギー問題、大災害に備えた大規模バックアップ拠点機能の確保など国家が優先して取り組むべき課題の解決に向け、正に国家的見地に立った北海道開発の推進が強く求められている中で、我々北海道民は今こそフロンティアスピリットをもって使命に応え、食料自給率の向上やエネルギーの安定供給などに寄与し、国の発展に貢献して行く所存である。

しかしながら、国土面積の22%を占める北海道の国家的開発を自治体の財政負担によって支えて行くことは極めて困難と言え、他地域と比べ非常に立ち遅れている高速交通・物流ネットワークなど必要とされる社会資本整備や1次産業の振興、さらには国策としての北方領土隣接地域の振興などの面で、北海道局並びに北海道開発局への期待は誠に大きなものがあり、拙速な統廃合や委譲議論は避けるべきである。

については、北海道総合開発体制の国家的使命を確認するとともに、国土交通省北海道局並びに北海道開発局の存続を強く要望致します。

環太平洋パートナーシップ（ＴＰＰ）交渉に対する適切かつ慎重な対応について

環太平洋パートナーシップ協定は、現４か国加盟国と９か国の加盟交渉国による拡大交渉会合を行っております。先の衆院選では、政府自民党は、「聖域なき関税撤廃を前提とする限りＴＰＰ交渉参加に反対」との公約を掲げましたが、日米協議を軸に交渉参加の可能性を探っております。

我が国は、すでに世界で最も開かれた農産物純輸入国であり、食料自給率は他の先進国と比較して著しく低下しています。

関税が撤廃された場合の影響額について、北海道農政部が平成２０年度農業産出額により試算されたものでは北海道農業への影響額は５，５６３億円、また北海道水産林務部による平成２０年度漁業生産額試算では漁業生産への影響額が５３０億円とされ、関連産業や地域経済への影響額を加えると２兆１，２５４億円に及ぶとされています。

特に、東北北海道は第１次産業を主に、関連する食品製造業や農業機械の営業所、農産物を運搬する輸送業者など農業関連産業の従事者も多く、地域の崩壊を招くことは明白であります。

また、道東地域のみならず北海道内の産業全体が壊滅的な打撃を受ける大問題であり、国民の大多数が望む食料自給率の向上に逆行することも明らかであります。

さらには、関税撤廃の影響が大きい農業、食関連産業が国際競争に耐え得る対策を講じることが必要であることから、現段階でのＴＰＰ交渉参加は時期尚早であり、政府においては、適切で慎重な対応をされるよう強く要望いたします。

道内空港の持続的な運営について

広大な面積を有する本道には現在１３の空港があり、そのうち道東地区には国管理空港の釧路空港、道管理の女満別・中標津・紋別空港、市管理の帯広空港と５つの空港がある。それぞれの空港が、道東の地域経済の活性化に大変重要な役割を果たしており、特に道内と道外間の旅客輸送についてその９割を航空機輸送が担っている現状において、空路は地域住民の生活を支える重要な交通基盤である。

そのような中、一昨年７月、国の「空港運営のあり方に関する検討会報告書」が取りまとめられ、２年後には上下一体の民営化が行われる方向性が示されました。

しかしながら、広域分散型の北海道においては、高速交通を空路だけに依存する地域が数多くあり、さらには、災害時の救援活動の拠点としての役割など、道内空港に求められる機能は単なる経営効率のみで判断できるものではなく、道民の安心・安全な生活に欠かせない「高い公共性」を有していることから、唯一の交通ネットワークである空港が、観光振興や医療体制の充実など地域に果たす役割は極めて大きい。

本道の特殊性を十分に認識の上、空港ごと・管理主体ごとではなく、それぞれの自治体と協議し地元の実情を踏まえて、地域との連携のもとに、地域経済社会にとって効果的な実行がなされるよう要望します。

○美幌町商工業の振興並びに育成のため（平成24年11月28日）

平成25年度美幌町の予算編成にあたり美幌町商工業の振興並びに育成のため、次の事項について特段のご高配を賜りますよう茲に要望致します。

美幌町長 土谷 耕治 殿

要 望 事 項

1 商工会議所運営に関する予算要望について

平成25年度美幌商工会議所事業運営にあたり下記の通り予算要望をいたしますので美幌町の特段のご配慮を要望する次第であります。

- | | |
|--------------------------|-------|
| (1) 商工会議所中小企業相談所運営費補助金 | 応分な金額 |
| (2) (仮称) びほろ夏まつり開催に伴う補助金 | 応分な金額 |
| (3) 買い物宅配サービス事業に伴う運営費補助金 | 応分な金額 |

2 陸上自衛隊美幌駐屯部隊の充実整備について

理 由

本町は、昭和26年旧海軍航空隊跡地に当時の警察予備隊美幌部隊が駐屯し、今や全国に誇り得る陸上自衛隊の精鋭部隊の駐屯する町であります。

しかしながら、平成22年12月に、新たな安全保障環境に対応するため閣議決定された防衛計画の大綱により陸上自衛隊の編成定数の削減となりました。

今後さらに自衛隊組織の見直しによる部隊の統廃合等が行なわれた場合、美幌駐屯部隊にも影響を与えかねない状況でもありますので、引続き美幌町当局の美幌駐屯部隊の充実整備と常設訓練施設等の候補地活動を要望する次第であります。

3 公共事業の確保と早期発注方要望について

理 由

個人消費の低迷、民間設備投資の減少、長年にわたる公共事業の削減等で景気は依然として厳しい状況の中であり、こうした状況がさらに続けば当地方経済の活力も著しく低下・疲弊します。

昨今の地方自治体の財政状況も極限状態であるとは存じますが、地域経済活性化に向け下記事項について特段のご配慮を賜りますよう要望する次第であります。

建設工事量の安定的確保と地元企業への優先発注

- (2) 「美幌町住宅リフォーム促進助成制度」上限額の増額並びに早期受付開始

4 町産品愛用及び町内優先購入方要望について

理 由

当所では、地元産品愛用と町内優先購入の促進を美幌町連合商店会と協力し積極的に活動を展開しているところであり、美幌町におかれましても特段のご支援を賜りますよう要望する次第であります。

また、例年各商店会や組合等で実施致しております地元消費拡大のためのセールやイベント等は、販売促進活動に繋がるよう事業展開を進めていきますので、引続き美幌町中小企業振興条例に基づく助成金を賜ります様特段のご配慮を併せて要望する次第であります。

5 町内消費拡大事業に対する支援について

理 由

個人消費の拡大と購買力の流出防止を狙い、美幌商工会議所・美幌町連合商店会・協同組

合スマッピーカードびほろで実行委員会を編成し21年度より実施しております販売促進活動も、25年度では消費者はもちろん地元商店街として更なる躍進に向け新たな事業展開を企画しておりますので、美幌町におかれましても引続き商業の振興、景気回復のため特段のご配慮を賜りますよう要望する次第であります。

6 観光振興計画策定に伴い今後の事業展開の推進について 理 由

本町には、阿寒国立公園の景勝地の一つとして「天下の絶景 美幌峠」を有しておりますが、現状は通過型観光であります。

そうした観光客のニーズに対応するため、美幌町の自然環境や地理的利便性を最大限に生かし、滞在型観光を目指し本町の観光活性化に向けた観光振興計画の策定に伴う各種事業の早期展開に向けて、美幌町の特段のご配慮を要望する次第であります。

また、地域ブランドとしての特産品の開発に取り組んでおりますが、「美幌豚」関連の付加価値のある新商品の開発にも取り組み観光並びに地域活性化に向け鋭意努力致しているところでもありますので引き続き特段のご配慮を併せて要望する次第であります。

7 都市基盤整備事業の推進について 理 由

本町の都市基盤整備並びに交通安全等の観点から、次の事項について特段のご配慮を賜りますよう要望する次第であります。

- (1) 花見橋との連結道路網の整備促進
- (2) 国道の整備促進
 - ①「美禽橋並びに美幌橋の架け替え」
 - ②「国道334号線美斜線」
 - ③「国道243号線基点の交差点改良」
 - ④「案内標識看板の改良」
- (3) 町道1号線と国道240号線の交換変更
- (4) 高規格幹線道路（北見市－高野、女満別空港－網走）の整備促進
- (5) 道東縦貫道路（美幌－標茶）の計画路線への早期昇格への促進
- (6) 道々の整備促進
 - ①「駅前停車場線の改良」
- (7) 町道の整備推進
- (8) 歩道の整備（国道・町道）
 - ①バリアフリー化、植栽の整備、改築工事、街路灯・防犯等の整備
- (9) 公共交通機関のアクセス網の促進
 - ①女満別空港発着バスの美幌乗り入れについて
 - ②都市間バス対策について

8 公共施設の建設・利活用並びに民間を含めた検討委員会の設置について 理 由

様々な公共施設が、本庁舎を含めて老朽化していると思われませんが、町民の利便性に配慮し機能を連携させ、生活弱者や高齢者にやさしく暮らしやすい生活環境が提供できるような公共施設に向けて、財政環境が厳しい中ではありますが一日でも早く民間との共同による建設検討委員会の設置と現在の公共施設の利活用についての利活用検討委員会の設置を次の事項について特段のご配慮を賜りますよう要望する次第であります。

- (1) 美幌みどりの村周辺の植栽化
- (2) 町民会館老朽化による多機能施設として町の中での建設について
- (3) 他の老朽化した建物の検討

9 美幌高等学校の学習環境等の充実整備促進について

理 由

昨年4月美幌町内における高校2校の一斉統合により、新設美幌高等学校としてスタートしたところであり、農業クラブ等による全国大会優勝など数々の優秀な成績を収めており、美幌町の名を全国に知らしめているところでもあります。

そうした中で、今後も美幌町の次代を担う人材育成に向け美幌町に相応しい高等学校となるよう学習環境等の更なる充実と今後の少子化傾向に向けての生徒募集対策等、美幌町の特段のご配慮を要望する次第であります。

10 美幌町への移住・定住の積極的推進について

理 由

北海道内で、団塊世代を中心とした移住の受け入れに積極的な市町村が、「北海道移住促進協議会」を設立し、北海道の魅力発信や移住体験の場を提供するほか、移住相談窓口を設置しており、美幌町におかれましても移住相談ワンストップ窓口の設置、インターネットによる情報提供がなされておりますが、今後も興味のある方々のニーズを把握し、移住・定住に対し積極的な施策に取り組むよう特段のご配慮を賜りますよう要望する次第であります。

また、今後の美幌町を担うであろう若者の定住促進と住宅投資を促す意味でも、地元企業への発注による住宅建設に対し持家建設奨励金等の制度の新設を併せて要望する次第であります。

11 TMO計画事業の支援方要望について

理 由

中心市街地の活性化取り組みについては、旧法で町に認定を受けたTMO構想事業が、平成18年6月の法改正により事業手法を再開発事業として公共施設（文化ホール機能）を取り入れた「にぎわいの駅整備事業」構想を平成20年2月にまとめました。その後、文化ホールの設置については諸般の事情により、他の公共施設へ変更することとなり、種々検討を行なっているところであります。

中心市街地の活性化は、単に商店街を活性化することではなく、まち全体のコンパクトなまちづくりを進めるマスタープランのもと、居住、公益施設、交通などの要素を中心に、生活拠点として総合的に中心市街地のまちづくりを進めることであることから、次の事項につきまして美幌町の特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

- (1) にぎわいの駅整備事業への支援
- (2) 空き店舗活用事業の支援
- (3) 空き店舗解体に伴う補助制度の創設

12 ケア付き福祉公営住宅の建設について

理 由

美幌町には知的・精神障害者（児）等が250名在住、その親族も高齢化に伴い親亡き後の当事者たちの地域生活支援について、平成18年2月公営住宅法施行令の一部を改正する政令により公営住宅の単身入居が認められるようになりましたが、単身で生活できないケースも多々あります。

については、美幌町の将来に向けての福祉を中心とした街づくり並びに移住・定住にも繋が

ることとなると思いますので、そうした単身で生活できない知的・精神障害者（児）等に対する、ケア付き福祉公営住宅の建設に美幌町の特段のご配慮を要望する次第であります。

1 3 介護支援者の人材育成並びに教育環境の対応について 理 由

医療技術の進歩や設備の充実により、国民の平均寿命は増加の傾向にあります。平均寿命が延びることは良いことですが、高齢者にとって老化に伴う体力の低下は免れず、介護サービスの需要は増加の一途であります。

2000年に介護保険制度を導入し、それまで行政が行っていた社会福祉事業を民間で行えることとなり、今では美幌町でも豊富な介護・福祉サービスの提供が可能となっています。

しかし、実際には現場で働く介護者が不足しているのが実情であり、そのため介護者1人当たりの仕事量が多く、体力的な理由で離職をせざるを得ない、また仕事と報酬のギャップに悩まされてやむなく転職に至るといったケースも多いようです。

さらには、事業所・施設によっては、約3年で人が入れかわるといった状況もまれではなく、今では介護職につこうとしている人自体減少傾向にあるようです。

本来、介護者が心身ともにもっと余裕を持って介護に携わり、よりよいサービスを提供することにより、介護を受ける高齢者が少しでも多くの喜びを得ることができる社会こそが本来あるべき姿だと考えますので、介護支援者の人材育成と教育施設の設置に向け美幌町の特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

○陸上自衛隊美幌駐屯部隊の充実整備について（陸上自衛隊美幌駐屯部隊充実整備期成会）

昨年発生した東日本大震災は、東北地方を中心に未曾有の大きな被害をもたらし、防衛省は過去最大となる10万人規模の自衛隊員の災害派遣を決め、全国の駐屯地、基地から自衛隊員が派遣され当駐屯地からも駐屯地司令はじめ470名の隊員が現地において想像を絶する過酷な状況の中、捜索、救出、生活支援、輸送支援などの活動が続けられました。被災された方はもとより、国民は頼もしさを実感し高い評価をされたところであります。

しかしながら、派遣された隊員及び駐屯地に残った隊員の負担はきわめて大きく、このような大規模災害に対して、主たる任務であるわが国の防衛との両立については、厳しい部分もあったのではないかと推測するところであります。

陸上自衛隊美幌駐屯地は、創立以来61年間の永きにわたり、屈指の精鋭部隊として道東防衛の重責を担っております。

また、隊区内10市町の災害時における迅速な対応や各地域での諸行事などに積極的なご支援ご協力を頂いておりますことに、心より深く感謝とお礼を申し上げる次第であります。

さて、平成15年度には第5師団の旅団化に伴い「第5特科連隊第3大隊」がその歴史に幕を閉じ万感の思いで廃止を見届けた次第であります。

国においては、平成22年12月に、新たな安全保障環境に対応するため、22大綱を閣議決定しましたが、この大綱に示す陸上自衛隊の編成定数は約15万4千人であり、16大綱に比較いたしますと約1千人の減となります。

しかしながら、平成22年度末の陸上自衛隊の編成定数は16万100人であることから、これからの10年間で常備自衛官で約4千600人を削減することになります。

報道によりますと、24年度末で陸上自衛官常備数は15万1063人と前年度比274名減、即応予備自衛官は8175人から304人減とされています。

今後さらに自衛隊組織の見直しによる部隊の統廃合等が行われた場合には、「第6普通科連隊・第101特科大隊」が駐屯する陸上自衛隊美幌駐屯部隊に影響を与えかねないものと大変危惧しているところであります。

特に第101特科大隊が装備している203mm自走榴弾砲は年代的にも古く、日本での

ライセンス取得後20年以上経ている状況の中、廃車が懸念されていると同時に部隊の存続も不透明なところにあります。

このような状況にあります。私共は地域を挙げて陸上自衛隊美幌駐屯部隊の充実発展のため一貫してその活動を支え、自衛隊と地域の熱い絆と良好な関係を築き憂いなく任務に邁進して頂くよう全身全霊をもって支援し、信義を尽くしてきたところであります。

こうした自衛隊と共に築いてきた歴史と強い絆をご理解頂きますとともに、潜在的な北の脅威に対し、また約230kmにもなるオホーツク海岸線と道東地域の防衛を強固なものにし、道東地域住民の安全安心を確保するために次の事項につきまして、ご配慮を頂きたいとお願い申し上げます。

記

1 長距離（800～1,000m）射撃訓練施設の設置

美幌駐屯地には、現在200m射撃が可能な射撃訓練施設が設置されていますが、将来の兵器を見据えた最大1,000mの射撃が可能な射撃訓練施設の候補地として、当町の町有地候補地を活用して頂き、設置候補地として是非ご検討頂きますよう、特段のご高配をよろしくごお願い申し上げます。

2 主力部隊の増員と火砲部門の強化・近代化を含めた新編部隊の配置を要望

昨年度の東日本大震災で自衛隊の活動が国民の中で高い評価をされる等自衛隊に対する意識が大きく変化してきたと思っております。今後このような大規模な災害が発生した場合も、今回と同様な体制が取られることと想定されますが、派遣された以外の隊員による駐屯地の運営などを含め十分に検証していただき、新たな「防衛計画大綱」及び「中期防衛力整備計画」の中で、特に陸上自衛隊を中心とした人員削減の方針について見直していただきたく切にお願い申し上げます。

近年活発化するロシアの動向に加え、オホーツクの海岸線の防衛と、北の脅威に対する抑止力の強化を図るため、陸上自衛隊美幌駐屯地の主力部隊である「第6普通科連隊」、「第101特科大隊」、の隊員の増員と施設整備並びに装備の充実を図っていただきますよう特段のご配慮をお願いいたします。

特に、火砲の主力部隊であります「第1特科群第101特科大隊」につきましては、道東・オホーツク海沿岸の地域に居住をいたしております地域住民にとって、西方重視の傾向にあるなかで、北の脅威に対しての抑止力が無ければ継続した民生安定は保てないものと考えており、現在の施設等の有効活用と恵まれた訓練環境等（野戦特科部隊には絶対的に必要な射撃練習場として矢白別演習場へは120km内・然別演習場160km内に存在）が存在することから、新編部隊の配置や第1特科群が保有する多連装ロケットシステム等の導入、火砲部門の充実整備・強化・近代化などについて、最大限のご配慮頂きたいとお願いいたします。

3 自衛隊の実働訓練施設(特殊教育、冬期訓練)の設置、隊員のメンタルヘルスケア、保養のための施設設置を要望

自衛隊の統合運用体制がスタートしましたが、東日本大震災において自衛隊として初めて、東北方面総監の指揮下で陸・海・空の統合した災害救助活動が実施され大きな成果を収めたことと認識しております。

国の防衛は、十分とは言えない防衛予算の中で、国の防衛や国際平和協力活動あるいは大規模災害対応の任務を負う陸上自衛隊として、日本一を誇る矢白別演習場・然別演習場の中間に位置する美幌駐屯地を活用して頂き、さらに有効な住民感情など、優れた訓練環境や理解ある地域住民をバックに部隊の精強化に努めるため、今後ともこの道東を「キーステーション」として与えられた任務を果たしていくことが「より効果的で実効性がある」とも考えています。

今後更に、統合運用の強化を図るため、道東の恵まれた訓練環境と冬季積雪寒冷を活用し

た自衛隊の実働訓練の候補地として、ご検討いただけますようお願い申し上げます

また、中央には即応集団や市街地戦闘訓練施設が設置されていますが、積雪寒冷も想定した訓練地として美幌町は最適地と考えますことから、当町の町有地候補地を活用して頂き、世界的にも勃発しているテロ・ゲリラや特殊部隊などに対応した特殊教育訓練や冬季施設など、更に米軍との共同訓練等の、設置候補地として是非ご検討頂きますようお願い申し上げます。

美幌町は、年間を通じ日照率が高く豊かな自然環境と全国でも数少ない317haの面積を誇る駐屯地及び訓練場は十分な訓練成果が得られる最適地であり、矢白別演習場・然別演習場にも近いという利便性に富んでいます。

また、東日本大震災では、美幌駐屯地から470名の隊員が派遣され、長期にわたる捜索活動や救出、輸送支援をはじめ、遺体収容、埋葬などかつてない過酷な活動に従事したことによるフラッシュバック等心身の影響等を考えますとメンタルヘルスケアやカウンセラーなどが受けられる、教育訓練施設と保養施設を兼ね備えた施設整備も重要であると考えているところであります。

このことは、災害派遣ばかりではなく、国際貢献業務派遣隊員にも活用できるものであり、是非、当町の町有地を活用して頂き、四季折々の豊かな自然環境と、4本の国道が通り女満別空港に隣接する交通機関の利便性を活かした施設整備について、特段のご配慮をお願い申し上げます。

(3) 調査研究

A 従業員勤続年数調査

調査月日 平成24年10月1日～10月25日

調査内容 商工従業員勤続表彰のため

B 景気動向調査

調査年月日 6・9・12・3月（四半期毎）

調査方法 小売・卸売・建設・製造・サービス業の5業種の内、予め選定した企業100社に対し、四半期毎に調査を行なった。

(4) 広報

A 定期刊行

商工びほろ（年6回 美幌新聞「みつめて」に掲載）

B 不定期刊行

中小企業相談所だより

C その他

中小企業融資制度のしおり・施策普及啓蒙ボールペン・メモ帳

(5) 証明・鑑定・検査

A 証明

貿易関係・国内取引関係証明 該当なし

営業証明 18件

B 鑑定 該当なし

C 検査 該当なし

(6) 各種行事

A 講師の派遣

a 美幌町高齢者教室「明和大学」

日 時 平成24年10月17日
会 場 マナビティセンター
テ ー マ 美幌町の商工業について
派遣講師 事務局次長 横山 清 美
対 象 者 明和大学本科3年生

b 「地域経済の潜在力発掘プロジェクト オホーツクフォーラム in 美幌町」

日 時 平成25年2月7日
会 場 しゃきっとプラザ
テ ー マ わがまち美幌を元気に。美幌豚醤油まるまんま
派遣講師 経営指導員補 伊藤 健 一
対 象 者 一般聴講者

B 視察団の受入

2012ケンブリッジ訪問団

日 時 平成24年10月12日
場 所 役員室
受 入 先 ケンブリッジ訪問団8名
内 容 美幌町の商工業について

C 行 事

a 美幌商工会議所商工従業員表彰式

日 時 平成24年11月20日
会 場 美幌経済センター
被表彰者 表彰・受賞の項参照

b 協賛行事

1. 美幌観光和牛まつり支援

日 時 平成24年7月15日
会 場 網走川河畔公園

2. びほろ冬まつり支援

日 時 平成25年2月3日
場 所 旧家畜センター跡

D 研 修 派 遣

① 日 時 平成24年6月26日～28日

会 場 札幌市
受講者 経営指導員 深田 裕 二
内 容 経営革新支援研修

② 日 時 平成24年8月28日～30日

会 場 札幌市
受講者 経営指導員 河野 聡
内 容 人事労務の実務支援研修

- ③ 日 時 平成24年10月23日～25日
 会 場 札幌市
 受講者 経営指導員補 伊藤 健一
 内 容 地域資源の活用推進支援

(7) 技術技能の普及検定

A 検 定

a 簿 記

回 次	実施月日	人数	1級	2級	3級	4級	合計
第131回	6月10日	受験者数	1	1	2	—	4
		合格者数	0	0	1	—	1
第132回	11月18日	受験者数	—	2	2	—	4
		合格者数	—	0	1	—	1
第133回	2月24日	受験者数	—	—	3	—	3
		合格者数	—	—	1	—	1

b ワープロ 該 当 な し

c 北海道観光マスター 平成24年11月23日実施
 受験者数 2名 合格者数 1名

B 競 技 会 該 当 な し

(8) 取引紹介（照会を含む）斡旋
 国内取引

文章によるもの 0 件
 電話によるもの 0 件
 窓口によるもの 0 件

(9) 取引紛争の調査、仲裁 0 件

(10) 求人活動の相談指導

会員事業所の新規学卒求人对策として相談窓口となり、一括求人活動を行った。

(11) 経営改善普及事業

A 巡回、窓口、相談事業

イ. 経営指導員の設置月数及び稼働日数 36ヶ月 640日

ロ. 巡回による相談及び指導日数 161日

ハ. 相談及び指導の内容及び件数

相談指導内容	巡回	窓口（電話を含む）
経営革新	0	0
経営一般	108	41
情報化	498	103
金融	39	113
税務	117	127
労働	116	141
取引	0	0
創業	0	8
環境対策	0	0
その他	436	12
合計	1,314	537

B 講習会等の開催による指導

イ. 集団指導

開催年月日	講題または指導内容	講師の職業及び氏名	回数	人数	
H24. 4. 20	日本の創生—強く美しい国をめざして	(社)倫理研究所 理事長 丸山敏秋	1	55	
H24. 11. 15	企業経営の効率化に向けて	オホーツクネクスト経営美幌菅原事務所 所長 菅原雅之	1	10	
H25. 3. 25	接遇&マナー研修	(有)エスパスマナーアカデミー 成田裕美	1	13	
集団指導			計	3	78

ロ. 個別指導

開催年月日	講題または指導内容	講師の職業及び氏名	回数	人数	
25.2.21 ～ 22	決算個別指導	経営指導員 横山清美 深田裕二 河野聡	2	23	
25.3.14	消費税個別指導	税理士 菅原雅之	1	10	
個別指導			計	3	33

C 金融の斡旋

		斡旋延べ 件数 (件)	貸付決定 件数 (件)	斡旋総額 (千円)	貸付決定 総額 (千円)
国金 民融 生公 活庫	一 般 ・ 特 別	3	2	51,700	41,700
	マ ル 経 資 金	7	7	38,000	35,000
	計	10	9	89,700	76,700
そ の 他	道 制 度 融 資	22	22	330,750	330,750
	市 町 村 制 度 融 資	98	95	650,400	645,400
	そ の 他 金 融 機 関	-	-	-	-
	計	120	117	981,150	976,150
合 計		130	126	1,070,850	1,052,850

D 社会保険等の事務代行

労 働 保 険	事 業 所 数	従 業 員 数	
	83	362	
各 種 共 済 加 入 者	小 規 模 共 済	倒 産 防 止 共 済	中 退 金 共 済
	239	18	168

(12) 受 託 事 業

小規模企業共済
 中小企業倒産防止共済
 中小企業退職金共済
 労働保険事務組合

中小企業基盤整備機構
 ”
 勤労者退職金共済機構
 労働基準局・北海道商工労働観光部

8. 登 録

(1) 法 定 台 帳

商取引紹介（照会）斡旋に活用した。

- ・作成（又は訂正）年月日 平成24年4月1日～平成24年9月30日
- ・登録業者数 249名

9. 会 館 ・ 事 務 所 等

(1) 土 地

※ 美幌経済センター敷地地積	1,768.04 m ²
① 美幌町有地 無償借受使用	927.23 m ²
所 在 美幌町字仲町1丁目44番1	
② 美幌商工会議所所有地	840.81 m ²
所 在 美幌町字仲町1丁目44番2	(495.06 m ²)
所 在 美幌町字仲町1丁目1番1	(337.26 m ²)
所 在 美幌町字仲町1丁目85番2	(8.49 m ²)
※ 美幌峠売店休憩地地積	738 m ²
国 有 地 網走営林署より有償借受け	
所 在 美幌町字古梅国有林網走事業区27林班ちりヲ小班	

(2) 建 物

美幌商工会議所の所有する主たる建物及び物件

◎ 美幌経済センター

RC造（一部SRC造） 3階建

1階 450.78 m²（内 町所有 297.16 m²、会議所所有

93.07 m²、共有 60.55 m²）

2階 424.87 m²

3階 450.24 m² PH階 27.25 m²

合 計 1,353.14 m²

◎ 美幌峠レストハウス

鉄骨造 2階建

1階 560.20 m²

2階 523.65 m²（内 町所有 488.62 m²／会議所所有 35.03 m²）

合 計 1,083.85 m²

(3) 施 設

◎ 美幌経済センター

美幌商工会議所の所有する経済センターを本町産業経済の発展並びに社会福祉のため、適当と認める集会行事に対し、美幌経済センター運営規程に基づき貸与した。

◎ 美幌経済センター会議室使用状況

平成24年4月1日～平成25年3月31日

()内は23年度

月	第2研修室 役員室	大会議室A	大会議室B	大会議室	合計
4	4 (1)	0 (1)	4 (4)	4 (3)	12 (9)
5	8 (8)	1 (0)	7 (7)	2 (3)	18 (18)
6	6 (11)	1 (2)	7 (7)	2 (1)	16 (21)
7	6 (4)	0 (0)	3 (5)	0 (1)	9 (10)
8	4 (4)	0 (0)	1 (5)	0 (1)	5 (10)
9	8 (2)	1 (0)	4 (6)	0 (4)	13 (12)
10	6 (9)	1 (0)	1 (7)	1 (4)	9 (20)
11	13 (13)	0 (1)	3 (6)	2 (4)	18 (24)
12	2 (8)	0 (0)	2 (5)	4 (1)	8 (14)
1	1 (1)	0 (0)	1 (3)	1 (1)	3 (5)
2	4 (3)	0 (0)	4 (6)	0 (0)	8 (9)
3	8 (12)	0 (0)	3 (6)	2 (4)	13 (22)
合計	70 (76)	4 (4)	40 (67)	18 (27)	132 (174)

◎ 貸 室 2 室
美幌建設業協会 / 美幌ロータリークラブ

◎ 美幌峠売店施設 (美幌峠物産館)

10. 関係団体への加入及び連携

(1) 日本商工会議所

イ 所属委員会

・観光委員会

委 員

・地域活性化委員会

委 員

ロ 会議等出席

会 議 名	月 日	出 席 者	場 所
全国商工会議所専務理事会議	5. 17	専務理事	熱海市

(2) 北海道商工会議所連合会

イ 所属委員会

・観光振興委員会

副委員長

・地域開発委員会

委 員

・地域主権推進特別委員会

委 員

ロ 会議等出席

会 議 名	月 日	出 席 者	場 所
東北海道商工会議所専務理事・事務局長会議	4. 6	専務理事他	北見市
オホーツク管内会頭会議	4. 27	会 頭 他	北見市
東北海道商工会議所専務理事懇談会	5. 12	専務理事	北見市
東北海道商工会議所会頭会議	5. 11	会 頭 他	釧路市
全道商工会議所専務理事会議	5. 23	専務理事	札幌市
東北海道商工会議所要望活動	6. 7	会 頭 他	札幌市
北海道商工会議所連合会通常会員総会	6. 8	会 頭 他	札幌市
全道商工会議所専務理事会議	8. 9	専務理事	釧路市
北海道・東北商工会議所連絡会議	9. 5	会 頭 他	登別市
オホーツク管内会頭会議	10. 1	会 頭 他	当 所
全道商工会議所事務局長会議	10. 1	横山次長	稚内市
全道商工会議所会頭と北海道知事との懇談	10. 12	会 頭	札幌市
東北海道商工会議所専務理事・事務局長会議	11. 1	専務理事他	遠軽町
全道商工会議所中小企業相談所長会議	11. 7	横山次長	苫小牧市
東北海道商工会議所事務局長会議	11. 29	横山次長	帯広市
オホーツク管内専務理事・事務局長会議	1. 24	専務理事他	温根湯
全道商工会議所専務理事会議	2. 1	専務理事	札幌市
北海道商工会議所連合会通常会員総会	3. 7	会 頭 他	札幌市

ハ 大会・協議会等

・第62回全道商工会議所大会

日 時 平成24年7月6日

場 所 旭川市

出席者 会 頭 若 林 輝 彦

副会頭 山 本 和 則 ・ 久 山 邦 徳

専務理事 佐 藤 隆

事務局長 横 山 清 美

・第92回東北海道商工会議所連絡協議会

日 時 平成24年5月11日

場 所 釧路キャッスルホテル

出席者 会 頭 若 林 輝 彦
副 会 頭 山 本 和 則 ・ 久 山 邦 徳
専務理事 佐 藤 隆
事務局次長 横 山 清 美

(3) その他の団体

北海道中小企業総合支援センター
中小企業オホーツク公和会
網走管内職業能力開発協会
美幌町防火管理連絡協議会
北海道火災共済協同組合
北海道中小企業共済協同組合
北見職安管内労働保険事務組合連合会
北海道社会保険協会北見支部
北海道ILO協会北見地方支部
網走地方職業病防止対策連絡協議会
美幌観光物産協会
北見電信電話ユーザー協会
美幌地区危険物安全協会
美幌地区交通安全協会
エイチ・イー・エス推進機構
北見工業大学地域共同研究センター
東京農業大学生物産業学部協力会
エア・ドゥオオホーツク友の会
オホーツク物産振興協議会
ベストウイズクラブ
北方圏センター

(4) 町内下記団体の事務代行若しくは、その指導及び事業に協力した。

(社) 網走地方法人会美幌支部
美幌青色申告会
美幌町連合商店会
美幌自衛隊退職者雇用協議会
美幌警察官友の会
(協) スマッピーカードびほろ

(5) 諸会議等の出席

会議等名称	月 日	出席者	場 所
美幌町観光物産推進定例会議	4. 5	横山次長	役場
東京美幌会	4. 7	会頭	東京
美幌駐屯地入隊式	4. 8	久山副会頭	駐屯地
美幌高校入学式	4. 9	会頭	美幌高校
美幌高等職業訓練校終了・入校式	4.1 1	横山次長	職訓校
SOS ネットワーク事前会議	4.1 6	河野指導員	しゃきっとプラザ
みどり就労センター理事会	4.1 8	専務理事	就労センター
女満別空港整備利用促進協議会幹事会	4.1 8	横山次長	大空町
チャレンジデー実行委員会	4.1 9	深田課長	しゃきっとプラザ
隊友会美幌支部懇親会	4.2 2	会頭	グランドホテル
北見工大共同研究センター協議会総会	4.2 3	専務理事	北見市
みどり就労センター総会	4.2 4	専務理事	しゃきっとプラザ
美幌観光物産協会総会	4.2 5	専務理事	グランドホテル
共済制度担当者会議	4.2 6	河野指導員	北見市
オホーツク総合振興局施策説明会	4.2 6	深田課長	網走市
女満別空港整備利用促進協議会総会	5. 1	会頭他	大空町
南スーダン派遣壮行行事	5. 7	会頭	美幌駐屯地
網走地方法人会美幌支部役員会	5. 8	専務理事他	当所
北洋銀行美幌支店安全祈願祭	5. 8	会頭	北洋駐車場
美幌町観光物産推進定例会議	5. 9	横山次長	役場
スマッピーカードびほろ理事会	5.1 0	深田課長	組合事務所
網走地方法人会美幌支部総会	5.1 5	専務理事他	当所
TPP を考える連絡会議	5.1 8	横山次長	しゃきっとプラザ
交通安全協会総会	5.2 1	深田課長	当所
網走地方法人会総会	5.2 2	横山次長	網走市
オホーツク管内経営指導員連絡協議会総会	5.2 3	深田課長	北見市
青色申告会連合会総会	5.2 3	河野指導員	網走市
美幌峠まつり	5.2 7	会頭	美幌峠
南スーダン派遣壮行行事	5.2 8	会頭	美幌駐屯地
北海道火災共済総代会	5.2 8	専務理事	札幌市
女満別空港ビル監査会	5.2 9	会頭	空港ビル
美幌警察官友の会役員会・総会	5.2 9	会頭他	当所
第5旅団副旅団長歓迎会	5.2 9	山本副会頭	町民会館
びほろ生き活き商店街総会	5.2 9	深田課長	割烹たむら
美幌青色申告会役員会	5.3 0	専務理事他	当所
青少年育成協議会総会	5.3 1	専務理事	マナセン
商工会連合会応援ファンダプレゼン	6. 1	伊藤補助員	札幌市
自民党国土調査会セミナー	6. 3	会頭	北見市
女満別空港ビル取締役会	6. 4	会頭	空港ビル
美幌自衛隊退職者雇用協議会総会	6. 4	会頭他	当所
美幌青色申告会総会	6. 6	専務理事他	当所
企業誘致会議	6. 7	深田課長	北見市
美幌地方自衛隊協力会役員会・総会	6.1 1	会頭他	美幌駐屯地
美幌町戦没者追悼慰霊祭	6.1 4	会頭	しゃきっとプラザ

美幌町特別職等報酬審議会	6.1 4	会頭	しゃきっとプラザ
ネットワーク推進協議会	6.1 9	深田課長	北見市
美幌町連合商店会役員会	6.2 1	専務理事他	当所
スマッピーカードびほろ理事会	6.2 1	深田課長	組合事務所
鈴木宗男を囲むタベ	6.2 3	会頭	グランドホテル
美幌町との懇談	6.2 5	会頭他	しゃきっとプラザ
ハーモニーの会	6.2 5	会頭	割烹みはる
北見方面警察官友の会総会	6.2 6	専務理事	北見市
労保連北見地区協議会役員会・総会	6.2 7	専務理事	北見市
共済北見エリア加入促進協議会	6.2 7	河野指導員	北見市
さっぽろ美幌会	6.2 8	会頭	札幌市
道東縦貫道協議会総会	6.2 8	専務理事	弟子屈町
日商タブレット端末説明会	6.2 9	深田課長	札幌市
美幌観光和牛まつり実行委員会	7. 2	河野指導員	町民会館
中小企業支援センター事業検討会	7. 3	専務理事他	グランドホテル
道商連みがきあげ事業検討会	7. 4	伊藤補助員	札幌市
北海道信用保証協会懇談会	7.1 0	深田課長	北見市
第6師団長歓迎会	7.1 0	会頭	町民会館
美幌駐屯地追悼式	7.1 3	会頭	美幌駐屯地
歴代駐屯地司令歓迎会	7.1 3	会頭他	割烹田村
チャレンジデー実行委員会	7.1 3	深田課長	寿しの竹ちゃん
護衛艦入港歓迎式	7.2 7	会頭	網走市
曹友会ふれあいパーティー	7.2 8	会頭	町民会館
北海道新幹線祝う集い	7.3 0	会頭	札幌市
スマッピーカードびほろ理事会	8. 1	深田課長	組合事務所
美幌町観光物産推進定例会議	8. 2	横山次長	役場
びほろ生き活き商店街誕生祭	8. 4	深田課長	北3丁目
青色申告会研修会	8. 6	河野指導員	北見市
地域政策懇談会	8. 6	会頭他	しゃきっとプラザ
雇用対策会議	8.1 3	専務理事他	当所
美幌駐屯地充実整備期成会役員会	8.1 7	会頭	しゃきっとプラザ
生き活き商店街誕生祭反省会	8.2 1	深田課長	加賀屋
スマッピーカードびほろ理事会	8.2 2	深田課長	組合事務所
高橋知事との懇談会	8.2 3	会頭	大空町
網走地方法人会美幌支部役員会	8.2 7	専務理事他	当所
みどりの村ふれあいまつり実行委員会	8.2 8	専務理事	グリーンビレッジ
連合商店会正副会長会議	9. 3	専務理事他	当所
さっぽろ美幌会交流会	9. 5	久山副会頭	割烹田村
美幌療育病院親睦会	9. 8	会頭	北見市
松木けんこう国政の集い	9. 8	専務理事	北見市
みどりの村ふれあいまつり	9. 9	専務理事	グリーンビレッジ
美幌町観光物産振興推進定例会議	9.1 1	横山次長	役場
町民交通安全大会	9.1 3	横山次長他	しゃきっとプラザ
スマッピーカードびほろ理事会	9.1 5	深田課長	組合事務所
第5旅団長歓迎会	9.1 9	会頭他	グランドホテル
美幌青色申告会役員会	9.1 9	専務理事他	当所
アクサセミナー	9.2 1	専務理事	北見市

北見地方精神保健研修会	9.2 1	横山次長	しゃきっとプラザ
恵和会親睦会	9.2 2	会頭他	北見市
美幌峠秋風コンサート	9.2 3	横山次長	美幌峠
オホーツク管内経営指導員連絡協議会	9.2 5	深田課長他	当所
美幌町観光物産振興推進定例会議	1 0.1 0	横山次長	役場
スタンプカード協議会	1 0.1 1	深田課長	札幌市
自衛隊記念日観艦式	1 0.1 4	専務理事	横須賀
労働関係会議	1 0.1 5	河野指導員	網走市
アクサ共済制度担当者会議	1 0.1 7	河野指導員	北見市
JR 石北線意見交換会	1 0.1 8	専務理事	北見市
スマッピーカードびほろ理事会	1 0.2 4	深田課長	組合事務所
雇用対策会議	1 1. 7	専務理事	北見市
美幌町観光物産振興推進定例会議	1 1.1 2	横山次長	役場
TPP を考える講演会	1 1.1 2	会頭他	びほーる
活性化事業打合せ	1 1.1 2	専務理事他	当所
美幌高校学校評議員会	1 1.1 4	専務理事	美幌高校
青年の主張大会	1 1.1 7	専務理事	びほーる
網走地方法人会経営セミナー	1 1.2 4	横山次長	網走市
更正支援事業説明会	1 1.2 6	専務理事	当所
町融資打合せ会議	1 1.2 6	専務理事他	当所
地域居住支援勉強会	1 1.2 6	横山次長	しゃきっとプラザ
女満別空港ビル取締役会	1 1.2 8	会頭	北見市
びほろ冬まつり実行委員会	1 1.2 9	深田課長	町民会館
防衛省東京美幌会	1 2. 1	会頭	東京
道都美幌会	1 2. 2	会頭	札幌市
美幌町観光物産振興推進定例会議	1 2. 4	横山次長	役場
コープさっぽろ生協会	1 2. 5	専務理事	北見市
スマッピーカードびほろ理事会	1 2. 5	深田課長	組合事務所
道の駅連絡会議	1 2. 6	横山次長	網走市
e-tax 研修会	1 2.1 2	河野指導員	網走市
帯広地方協力本部長表敬挨拶	1 2.1 7	専務理事	しゃきっとプラザ
ベストウイズクラブ総会	1 2.1 8	専務理事	東京
環境マネージャー研修会	1 2.1 8	深田課長	札幌市
南スーダン派遣帰国行事	1 2.2 2	会頭	美幌駐屯地
駐屯地年忘れ会	1 2.2 2	会頭他	美幌駐屯地
除夜祭及び元日祭	1 2.3 1	会頭他	美幌神社
美幌町民新年交礼パーティ	1. 4	会頭他	グランドホテル
ロータリークラブ家族例会	1. 5	会頭	グランドホテル
道新新年交礼会	1. 6	会頭	北見市
消防出初式	1. 6	会頭	消防署
美幌町観光物産振興推進定例会議	1. 7	横山次長	役場
北海道新聞社北見支社新年交礼会	1. 8	会頭	北見市
自治会連合会新年交礼会	1.1 1	会頭	グランドホテル
美幌建設業協会新年交礼会	1.1 1	会頭	グランドホテル
成人の集い	1.1 3	会頭	びほーる
美幌駐屯地成人祝賀会	1.1 5	会頭	美幌駐屯地
美幌町特別職報酬等審議会	1.1 7	会頭	しゃきっとプラザ

自衛隊父兄会美幌地区懇親会	1.20	会頭	グランドホテル
生き生き商店街新年会	1.23	深田課長	割烹田村
税務指導所事務連絡会議	1.24	河野指導員	網走市
高橋文明新春の集い	1.26	会頭	グランドホテル
スマッピーカードびほろ新年会	1.29	深田課長	焼肉チャンピオン
冬季戦技競技会訓練公開	2. 5	会頭	美幌駐屯地
特科群長表敬訪問・歓迎会	2. 6	会頭	しゃきっとプラザ
鈴木宗男新春交礼会	2. 9	会頭	グランドホテル
スマッピーカードびほろ理事会	2.12	深田課長	組合事務所
オホーツク管内経営指導員連絡協議会	2.13	深田課長	遠軽町
経産省補正予算説明会	2.18	専務理事	網走市
土谷町長新春の集い	2.18	会頭	町民会館
美幌町観光物産振興推進定例会議	2.19	横山次長	役場
エネルギー関連施設視察研修	2.20	横山次長	宮城
美幌町との懇談	2.20	会頭他	役場
観光活用地域活性化講演会	2.21	専務理事	北見市
北海道食品加工コンクール	2.21	伊藤補助員	札幌市
自衛隊新入隊員を励ます会	2.23	会頭	町民会館
日下道議新春交礼会	2.23	久山副会頭	JAびほろ
スマッピーカードびほろ通常総会	2.26	深田課長	当所
JAびほろ試食会	2.28	伊藤補助員	JAびほろ
T P P 緊急集会	3.10	久山副会頭	網走市
美幌神社豊穰祈願祭	3.17	会頭他	美幌神社
美幌峠牧場調印概要説明会	3.18	会頭他	しゃきっとプラザ
美幌高校学校評議員会	3.18	専務理事	美幌高校
ハンズオン報告会	3.19	専務理事他	グランドホテル
町融資打ち合わせ会議	3.21	専務理事他	当所
中小企業支援担当者会議	3.25	深田課長	札幌市
自殺予防対策会議	3.26	河野指導員	しゃきっとプラザ
産業保健センター協議会	3.26	専務理事	北見市
網走地方法人会事務局研修	3.27	横山次長	網走市
101特科大隊長着任表敬挨拶	3.29	会頭	しゃきっとプラザ
ラルズ出店概要説明会	3.30	河野指導員	町民会館

11. その他

(1) 人口

21,033人(平成25年3月31日現在)

(2) 商工業者

941事業所(事業所統計)

(3) 小規模事業者数

670事業所(事業所統計)